



北上川流域ものづくりネットワーク 活動状況報告

北上川流域ものづくりネットワーク 10周年記念大会

I 北上川流域ものづくりネットワーク 10周年記念大会

当ネットワークは、産学官が連携して北上川流域を中心としたものづくり産業人材を育成することを目的に設立され、平成18年の設立から満10年を迎えました。これを記念し、平成28年11月24日にホテルシティプラザ北上にて「10周年記念大会」を開催しました。



II 感謝状贈呈

設立から現在にかけて当ネットワークの活動に多大な貢献をいただいた6名の方々に、感謝状を贈呈いたしました。感謝状を贈呈した6名は、下記のとおりです。

- ・秋井 文夫 氏(榊東北佐竹製作所 相談役)
- ・藤原 正榮 氏(谷村電気精機(株))
- ・吉田 寿穂 氏(旭エンジニアリング(株) 取締役営業本部長)
- ・松野 章 氏(元和賀プレジジョン)
- ・高橋 寛 氏(榊横川目電業 代表取締役)
- ・阿部 昌明 氏(ものづくりネットワークコーディネーター)



III 工業高校等への記念品贈呈

当ネットワーク10周年記念事業として、工業高校等へ工具等の記念品を贈呈しました。

盛岡工業高等学校、花北青雲高等学校、黒沢尻工業高等学校、水沢工業高等学校、一関工業高等学校、千厩高等学校の計6校に贈呈し、10周年記念大会では、代表として県高等学校教育研究会工業部会の眞岩会長(盛岡工業高等学校校長)に目録を贈呈しました。高校生の実習等に活用いただき、技術力向上に資することが期待されます。



IV 基調講演

当ネットワーク設立時に県知事であった増田寛也氏(元総務大臣)にお越しいただき、「地方創生におけるものづくり産業の役割について～北上川流域ものづくりネットワークの活動と地方創生への期待～」と題した基調講演をいただきました。

講演では、日本の製造業における労働生産性の高さや現場の強さを解説し、これまで培ってきた製造業の現場のDNAを伝えてつつ、新たな付加価値を生み出す必要性を強調されました。





V 次の10年の方向性の発表

当ネットワークの次の10年の方向性を決定するにあたり、これまで5回の「次の10年に向けた方向性検討会」が実施されました。

今大会では、方向性検討会メンバー9名が登壇し、メンバーを代表してトーノ精密(株)の佐々木取締役が次の10年の方向性を発表しました。佐々木取締役は、「産業構造の変化への対応」、「魅力ある職場づくり」、「産業人材の育成」、「ものづくりへの理解促進、人材の地元定着」の4本の柱を掲げた上で、当ネットワークの次の10年の方向性「地域で育ち、地域に貢献」を発表しました。



VI 産学官によるパネルディスカッション

次の10年の方向性の発表を受け、当ネットワーク会員の産学官代表によるパネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッションでは、当ネットワークのこれまでの10年の活動評価をはじめ、次の10年の方向性に対する意見及び今後の取組みについて、それぞれの立場から、熱い議論が交わされました。



VII 知事から当ネットワークへの感謝状贈呈

本大会の最後に、これまでの10年の活動を評して、達増知事から当ネットワークに対し、感謝状が贈呈されました。

当ネットワークを代表して感謝状を贈呈された谷村代表は、「この感謝状は、私個人のものではなく、会員皆さまの10年のお陰様。次の10年の方向性を踏まえ、これからも会員の皆さまと一緒にやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします」とあいさつしました。



VIII 黒沢尻工業高校専攻科生研究パネルの展示

大会会場後方に、黒沢尻工業高校専攻科の学生の研究パネルを展示しました。大会における休憩の合間に、来場者が研究パネルを見学していました。

見学している来場者に対し、学生が自身の研究内容を伝えていました。自分の研究成果を伝えるプレゼンの良い機会になったのではないのでしょうか。

当ネットワークとともに歩んできた黒沢尻工業高校専攻科の学生の応援を、今後ともよろしくお願いいたします。

